



なかみの郷

祝祭日は国旗「日の丸」を揚げましょう
私たちの祖先は遠い昔から太陽を生活の中心とし、常に感謝し尊んでまいりました。白地に朱色の「日の丸」は大自然と太陽を表したものです。大自然の豊かな恵みを戴いて農耕を中心に発展してきた日本人の誇りです。

奈加美神社
第1号
平成19年春号
5月1日発行
泉佐野市中庄834
電話462-7080

なかみの郷発行に際して

奈加美神社 宮司 北岡忠澄

風薫る清々しい季節を迎えられ、氏子皆様には
愈々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

去る平成十七年四月に奈加美大神さまの御神縁
を戴きまして、当社の宮司に就任致しましてより早
くも二年の月日が経ちました。就任当初よりこのよ
うな形で氏子皆様に何らかの情報の発信ができれ
ばなあ、と考えておりましたが、三年目を迎えて漸
く発行の運びと成りました。

皆様もご承知のとおり、奈加美神社は氏子区域で
ある中庄(奈)上瓦屋(加)湊(美)三町の頭仮名
文字を綴り合せての名称です。明治四十二年にそれ
ぞれの村々の神社・祠が合祀された際に、先人達は
中庄・上瓦屋・湊の和協一致の精神に基づき命名さ
れました。表題はこれにならない氏子皆様に親しん
で頂けるよう「なかみの郷」とさせて頂きました。

今号は初回春号ですが、年二回春号・秋号の発行
を予定いたしております。誌面は主に神社の行事・
出来事、ご祭神の紹介、鎮守の森の植物、神道につ
いての豆知識などを中心に、神社や地域の歴史につ
いても氏子さんのご協力を頂きながら掲載できれ
ばと考えております。また、前任の上田宮司様も神
社の歴史を中心とした「なかみ会便り」を第一号と

奈加美神社ミニ菖蒲園 5月下旬から6月中旬



第二十一号まで発行されており、大変詳しく研究さ
れておりますので、部分的に抜粋してご紹介させて
頂きたいと思っております。何分拙い文章ですが、
ご愛読の程宜しくお願い申し上げます。
なお、今号より定期的に発行を予定いたしてお
りますので、できましたらクリアファイルなどに保管
頂きましたら大変ありがたく幸甚に存じます。

「いづれがあやめかきつばた」

などと良く言われますが、花菖蒲はアヤメ科アヤメ
属の宿根草で、同じ仲間にアヤメとカキツバタがあ
ります。また端午の節句で菖蒲湯に用いられる菖蒲
はサトイモ科ですが、葉の形など一見よく似ている
ので混同されがちです。いづれにしても菖蒲は葉が
まっすぐ伸び剣先のように尖っていますので、昔の
武将は敵から身を守る霊験を期待して甲冑などに
花菖蒲の文様を配し、武運長久を願ったとされてい
ます。当社の主祭神・八幡さまは武神であり勝運の
神様です。これに因んで当社では花菖蒲の鉢栽培を
しております。一鉢に二〜三株の植付けですので、
約百二十鉢三百株の花が白・桃・紫など色とりど
りに咲き競います。開花期は天気・気温などにより前
後しますが、例年5月下旬から6月中旬にかけて咲
きますので、是非お立ち寄り下さい。

四月二十九日 春祭り並びに昭和祭齋行

本年より「みどりの日」が「昭和の日」に改称さ
れました。当社では例年四月二十九日に秋の豊かな
収穫を祈る春祭り(祈年祭)を行っておりますが、

今年からは祭典の中で春祭りの祝詞に続き皇室の
弥栄と国運の発展を祈る昭和祭の祝詞を奏上、ご祈
念申し上げ、日本古来の雅楽が奏でられるなか、各
町内会長を始め多数ご参列のもと厳肅に斎行され
ました。

奈加美神社改称百周年記念事業 ご奉賛のお願い

明治四十二年に中庄・上瓦屋・湊の頭仮名文字を
綴り合わせて「奈加美神社」と改称されてより迎え
来る平成二十一年二月を以つて目出度く百周年の
記念を迎えることとなります。つきましては「奈加
美神社改称百周年記念事業」として、社務所の建替
え、拝殿御屋根のコーキング補修及び外壁塗り替え、
その他各所修繕を予定いたしております。

現社務所は、大正年間の建造物で、昭和六十三年
に増築されておりますが、現代の神社の社務の機能
を果たすには十分とは言えず、時代に相応しく、広
く氏子の皆様にご利用頂ける施設が望まれます。ま
た拝殿にあつては昭和四十九年に氏子皆様方のご
浄財のもと見事に建立されましたが、三十数年を経
て、雨漏り・塗装の剥がれなどが少しずつ出てまい
りました。先人より受け継いできた貴重な文化財産
を次世代に引き継いで行くには定期的な補修が求
められます。

事業総額は七千万円の予定でございますが、内神
社の会計から三千万円を醸出し、残り四千万円を氏
子皆様方のご浄財のご奉賛により事業の完遂を願
っております。この事業は昨年二月の総代会で承認
され、十二月には各町内会役員・神社総代・敬神婦
人会合同での奉賛会設立準備委員会開催を経て、年
が明けてからは各町ごとに準備委員会を重ね、奉賛

会設立に向けて着々と準備を進めております。

今後の予定としましては五月六月中を目途に奉
賛会の設立を目標としており、氏子皆様方にはその
後改めて町内会を通じ、「百周年記念事業趣意書」
によりご奉賛のご依頼をさせて頂く所存でござい
ます。

どうか皆様様方の心よりどころとなる、村の鎮
守の氏神さまが美しく整った荘厳な神苑を護持し、
次世代に引き継ぎ伝えるため広く深くご理解を頂
き、何卒暖かいご支援とご協力を賜りますよう伏し
てお願い申し上げます。

今後の行事予定

- 五月下旬～六月中 花菖蒲奉納
- 六月二十日 御田植祭（虫送り）
- 七月下旬～八月中 サギ草奉納
- 十月十四日 秋祭（例祭・地車宮入り）
- 十月下旬～十一月中 菊花奉納



サギ草(ラン科)

湿地に自生するランで7月下旬から8月にか
けて純白の可憐な花を咲かせ、その姿は翼を
広げた白鷺を連想させます。当社では鉢植え
にて栽培しています。



ご祈祷のご案内

お宮参り・厄除け・安産祈願
七五三・車のお祓い
地鎮祭・住宅入居のお祓い
神道家霊祭等、各種お祓い
受付致しております
お電話にてご予約お申込み
下さい

神道豆知識 ～其の巻～

神道とは？

お寺の教えである仏教に対して、神社では「神道」と言
います。「神道」は六世紀初頭の仏教伝来以前からの日本土
着の自然崇拝・祖先崇拝を中心とする民俗宗教です。よく
八百万の神と言いますが、奈良県大神神社では神体山とい
って神聖な山が御神体であるように、日本人は山や巨石や
滝、木、火、土、金、水など、様々な自然、または自然現
象に神を感じ、時には自然の荒ぶる現象に恐れ込み、時に
は大自然の恵みに感謝を捧げ、自然に対し畏敬の念を以つ
て生活を営んでまいりました。「神道」は字の如く神の道と
書くように「教え」ではなく「道」であります。したがっ
て他宗教のように教義経典はございません。先に民俗宗教
と表現しましたが、日本の豊かな風土に育まれた日本人の
感性または概念と言った方が良いかも知れません。

